

## 病後児保育室の受入れ目安

### 【受入れの条件】

- ・事前に医師の診断を受けていること（受診後の電話予約）
- ・一般に風邪と呼ばれる状態
- ・骨折、やけど、外傷等外科的病気
- ・その他、担当医が利用可能と判断した状態

### 【受入れできない状態】

- ・伝染性疾患（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、流行性角結膜炎、ロタなど）の急性期で、他児に感染する恐れが強い。
- ・感染しやすく、いったん感染すれば重症になる危険性が高い（血液腫瘍疾患や重症心疾患、重症腎疾患、膠原病、免疫抑制剤を使用している場合など）。

主な症状	受入可能な状態
体温	・38.0℃以下。
嘔吐、下痢	・脱水症状が無い。 ・水分が摂取できる。 ・連続した嘔吐、下痢が無い。
咳、喘鳴	・呼吸困難、喘息発作が無い。 ・異常呼吸（努力呼吸、陥没呼吸など）が無い。
骨折、脱臼	・保育者の介助や援助を受けながら食事や移動ができる。
麻疹	・解熱後3日経過。
風疹	・発疹の消失後。
水痘	・すべての発疹が痂皮化。
流行性耳下腺炎	・耳下腺、顎下線、舌下線の腫張が出現した後5日経過。
インフルエンザ	・発症後5日経過、かつ解熱後3日経過。
マイコプラズマ	・解熱後24時間経過し、咳が改善。
RSウイルス	・解熱後24時間経過。
ヒトメタニューモウイルス	・解熱後24時間経過。
溶連菌咽頭炎	・抗生剤の内服開始後24時間経過。
プール熱	・主症状消失後2日経過。
ヘルパンギーナ	・利用可能。
手足口病	・利用可能。
ロタ、ノロ等 感染性胃腸炎	・嘔吐していない、かつ下痢はトイレ内あるいはオムツ内に収まる程度であること。

※解熱後とは、原則として解熱剤の使用なく37℃台であることを指す。